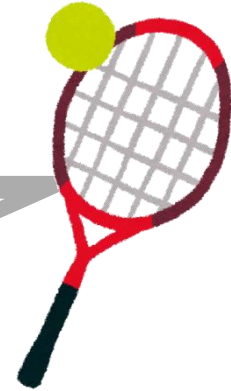
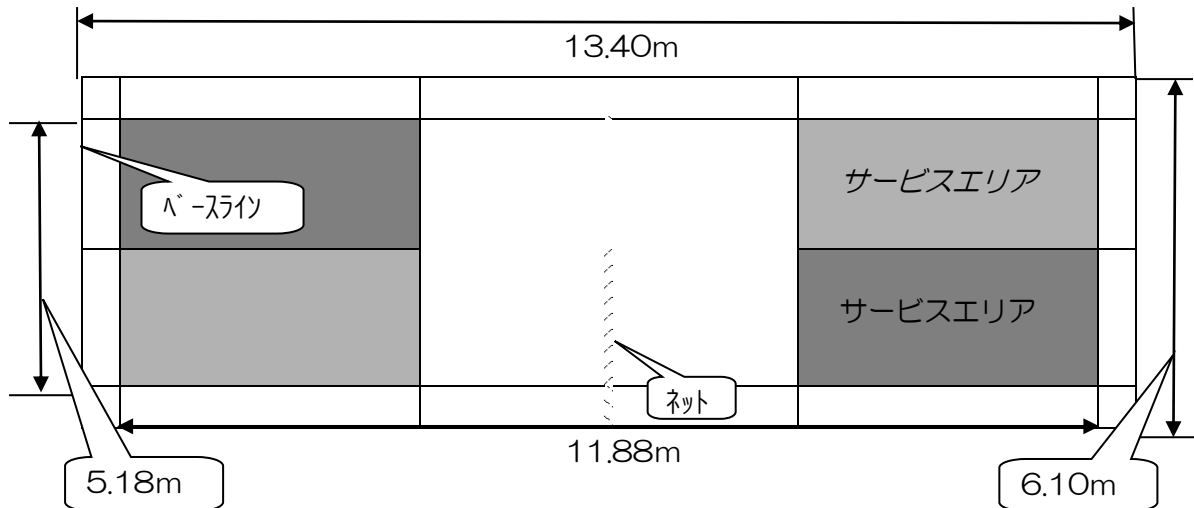


# ショートテニス



## 【大会ルール】

(1) コート (バドミントンコートと同じサイズ)



(2) 人数 2名1チーム (ダブルス)

(3) プレーヤーの服装

- ・キャプテンは大会の受付で渡されたピブス (ゼッケンベスト) を必ず着用してください。

(4) 用具

- ・ネットの高さは90cmとする。
- ・ラケットは55cm以内とする。
- ・ボールは、スポンジボール (黄色)、直径約7cmとする。

(5) 試合の勝敗の決め方

- ・1ゲーム「4点先取」とする。デュースはなし。
- ・1試合は7ゲームマッチとし「4ゲーム先取」したペアが勝ちとなる。
- ・得点のコールは、「ぜろ、いち、にー、さん、よん」とする。

(6) ルール

- ・サービスは1本とする。
- ・小学3年生以下は、サービスエリアの後ろのラインから、サービスをすることができる。
- ・コートチェンジはしない。
- ・サービスは、1ゲームごとに交代する。
- ・サービスがネットに当たって相手のサービスエリアに落ちた場合は、サービスのやり直しをする。(サービスのレット)
- ・ベースラインを踏んでサービス、空振りはフォルトとなる。
- ・サービスが明らかにフォルトであっても、ノーバウンドで身体やラケットに当たれば失点となる。
- ・インプレー中、自分のコートまたはラケットにボールが触れる前にラケットや身体等がネットを越えた場合は失点となる。タッチネットも失点とする。
- ・審判の判定に対しては、不服や申し立ては行えない。
- ・試合中に他のコートからボールが入って来た場合は、審判が「レット」とコールすることで、そのポイントのやり直しとすることができる。

### (7) 試合の進め方

- ・コート中央にネットを挟んで整列し、主審のコールであいさつをする。
- ・ジャンケンをして、勝った方がサービスかコートを選択する。
- ・練習を1分間する。主審のコールで試合を開始する。
- ・サービスは、主審がカウントコールしてから行う。
- ・主審のコールで試合終了。あいさつ・握手をする。
- ・最初のレシーブの位置は、その試合を通して変わらない。

### (審判の方法)

- 主審は試合の進行役を担当し、イン・アウトを判定します。
- 副審は主審の反対側に位置し、主審を補助し得点板を掲示します。

	場面	コール方法
主審	試合開始時	(コート中央に整列) 「ただ今から〇〇対〇〇の試合を始めます」「礼」 「ジャンケンをして下さい」「プレイ」
	ゲーム中のカウント	「1-0 (いちぜろ) など、サービス前にサーバー側からカウントする。
	ゲーム獲得時	「ゲーム」 「サービスを交代して下さい。」 「ゲームカウント〇対〇」
	サービス時	フォルトの場合「フォルト」と言う。 インの場合はコールしない。
	ラリー中	ストロークがアウトの場合「アウト」と言う。 ストロークがインの場合はコールしない。
	試合終了時	「ゲームセット」(コート中央に整列) 「ゲームカウント△対△で〇〇の勝ちです」礼 握手をさせる。
副審	サービス時	サービスの際、フットフォルトを見ておく。 ベースラインに足がかかっている場合は、サービスを打った瞬間に「フットフォルト」と言う。
	ラリー中	副審側のラインを中心にアウト・インの判定する。  ストロークがアウトの場合「アウト」と言う。 ストロークがインの場合はコールしない。 ※ミニ得点板を表示していく (試合終了後、試合結果を記録)

★センターラインを境に、主審側は主審が、副審側は副審が主に判定をする。